

## ホテル・旅館ホテルの耐震改修について

# えんど・平野両市議が、県に申し入れ！



5月19日、日本共産党のえんど久子、平野みかつ両市議は、堤栄三県議とともに、ホテル旅館の耐震化問題で、大分県に申し入れを行いました。

(申し入れ項目と県の回答は別項のとおり)

右から、えんど久子市議、平野文活市議、堤栄三県議

### 【申し入れ項目と回答】

#### ◆平成 27 年度の大分県の耐震改修補助率 5.75%を骨格予算で予算化すること。

(回答) 県建築住宅課としては何らかの支援は必要と検討しているが、補助率はまだ未定である。

#### ◆国に対し、特別枠で融資制度を創設するよう、求めること。

(回答) 県の金融支援室として、国に対して融資制度の創設について要望することを、検討している。

#### ◆特定建築物の耐震改修については、旅館・ホテル以外にも補助が出るようにすること。

(回答) ホテル・旅館以外への支援については、今のところ白紙の状態であり、今後の検討課題である。病院や福祉施設については、厚生労働省関係の別の支援制度がある。

別府市内には、昭和 56 年以前の 5,000 m<sup>2</sup>以上の旅館ホテルが 8 施設あり、平成 27 年度までに耐震改修が必要です。1 棟で約 4 億 8 千万円の耐震費用がかかり、国や市の補助を受けても多額の自己資金が必要です。

えんど市議らは「市と同程度の 5.75%の県補助と国の融資制度はどうしても必要」「来年は選挙の年で通常は骨格予算となるが、夏休みには営業ができるように、3月議会の当初予算で予算化してほしい」と強く訴えました。

日本共産党別府市議団

市議会議員 平野文活 えんど久子

# げんきニュース

2014 年 5 月 19 日

# NO, 604